

北海道浮魚ニュース

平成 28(2016)年度 7号

2016年7月1日

道総研 釧路水産試験場

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.htm>

◎道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間

2016年6月21日～6月30日

調査海域および調査点

道東～三陸沖合太平洋海域
(北緯 39 度 00 分～42 度 30 分、
東経 143 度 00 分～147 度 30 分
：親潮系冷水域および黒潮系暖水域)における 8 調査点 (図 1) です。

調査方法

10 種類の目合
(22・25mm：30 間切り各 1 反、
29・37mm：30 間切り各 4 反、
48・82mm：60 間切り各 2 反、
55・63・72mm：60 間切り各 1 反、
182mm：60 間切り 15 反) の流し網を用いた漁獲試験で、今年度本調査より 82mm を 1 反追加して実施しました。

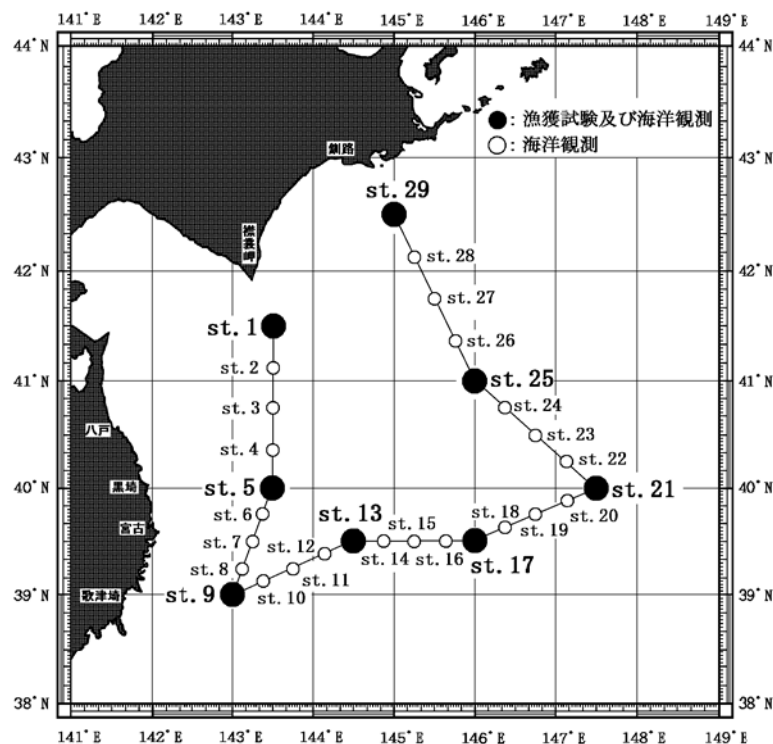


図1 漁獲試験調査点

調査結果

- ① 漁獲試験を行った 8 調査点の表面水温は 13.9～21.1℃(前年:12.2～20.5℃)、50m 層は 2.5～16.7℃(前年:2.7～14.5℃)、100m 層水温は 1.5～14.2℃(前年:1.7～12.2℃) でした(表 1)。

表1 水温および魚種別採集尾数

st.	1	5	9	13	17	21	25	29	合計
表面水温(°C)	15.1	19.8	21.1	19.6	13.9	16.0	16.5	15.5	
50m水温(°C)	8.8	15.8	16.7	15.7	2.5	2.4	10.8	8.4	
100m水温(°C)	7.7	14.2	14.0	12.8	1.5	2.2	9.3	5.1	
サバ類	45	0	0	35	519	272	142	189	1,202
マイワシ	217	0	0	0	1,309	8,930	2,173	1,481	14,110
カタクチイワシ	0	0	0	0	0	1	0	0	1
サンマ	0	0	0	12	2	61	1	2	78
スルメイカ	0	0	0	0	0	1	4	1	6
アカイカ	0	119	104	146	0	0	2	0	371

② 調査点別の魚種別漁獲尾数（表1）および流し網調査1回当たりの漁獲尾数（CPUE）の経年変化（図2、4、6、7）ならびに漁獲試験で採集された漁獲物の体長組成（図3、5、8）は以下のとおりです。

・サバ類(マサバ、ゴマサバ)

6調査点にて、合計1,202尾漁獲されました(表1)。

CPUEは150.3尾/回で、前年の212.3尾/回を下回り1994年以降では5番目に高い値を示しました(図2)。

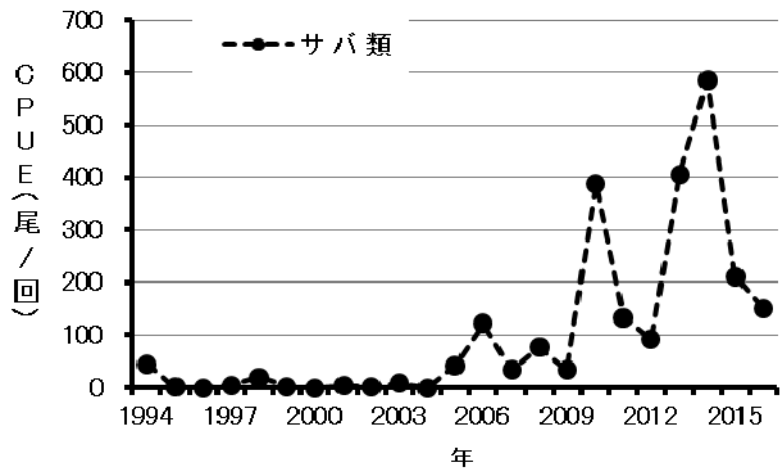


図2 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化

魚体は尾叉長15~43cm台で、28cm前後の個体が主体(図3)で、前年同様に30cm以上の大型が少ない傾向にありました。

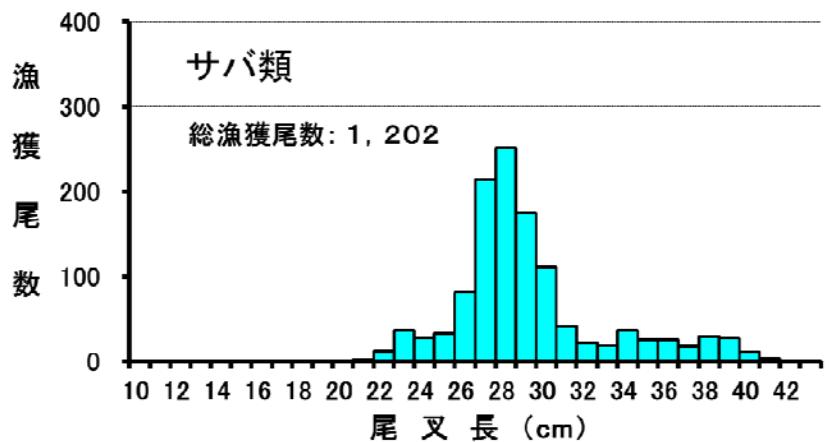


図3 サバ類の漁獲物体長組成

・マイワシ

5調査点にて、合計14,110尾漁獲されました(表1)。

CPUEは1,763.8尾/回で、前年の1,890.6尾/回と同程度となり、1994年以降では3番目に高い値を示しました(図4)。

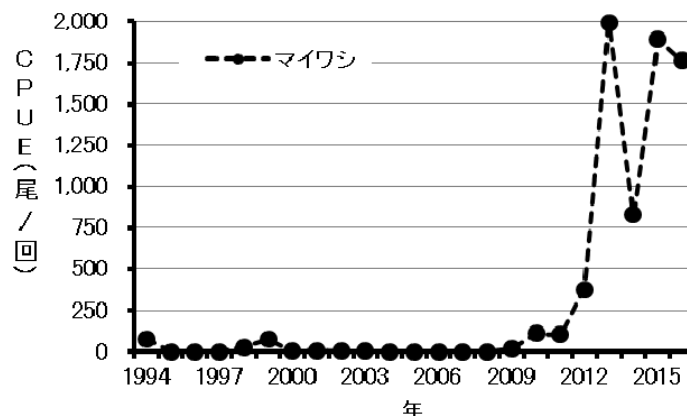


図4 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)経年変化

魚体は体長15.0~22.0cm台にあり、16.0cm台と18.0cm台に主体があり(図5)、前年より大型個体が多くなっています。

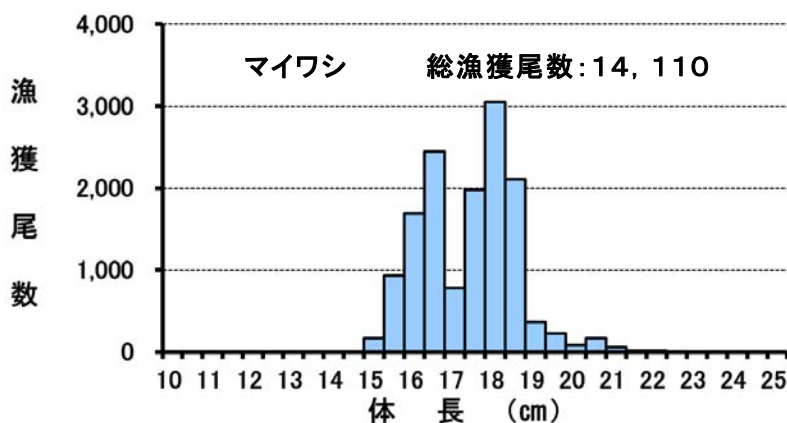


図5 マイワシの漁獲物体長組成

・カタクチイワシ

1調査点で、1尾漁獲されました(表1)。

CPUEは2012年以降低い値で推移しています(図6)。

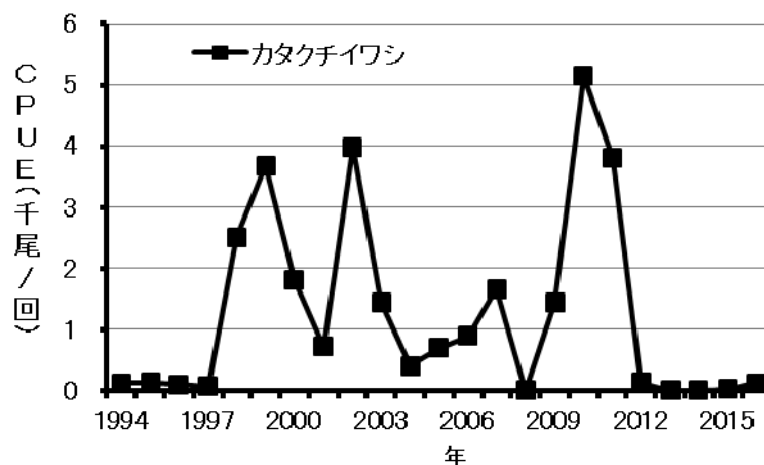


図6 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化

・サンマ

5 調査点で、合計 78 尾漁獲されました（表 1）。

CPUE は 9.8 尾／回で、前年の 8.3 尾／回を上回りましたが、2012 年以降低い値で推移しています（図 7）。

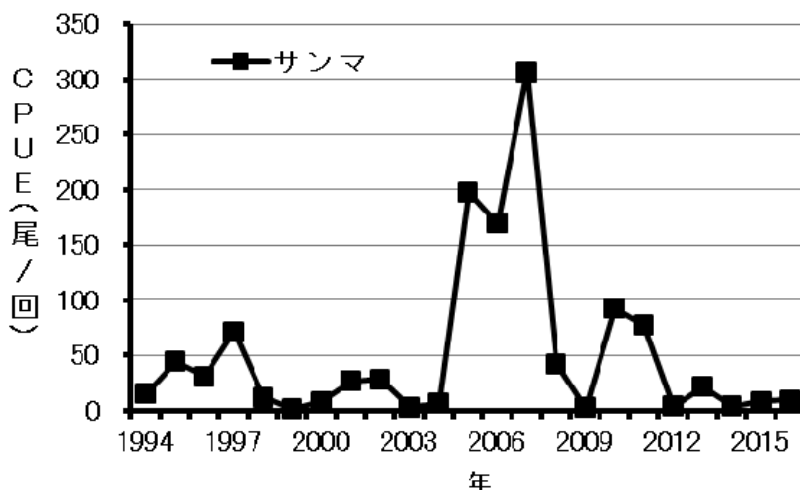


図7 調査1回当たり漁獲尾数(CPUE)の経年変化

サンマ

魚体は肉体長 22～32cm 台で、前年（主体 29cm）と同様 29～30cm 台の個体が主体でした（図 8）。また、25 cm 前後の小型個体も見えていました。

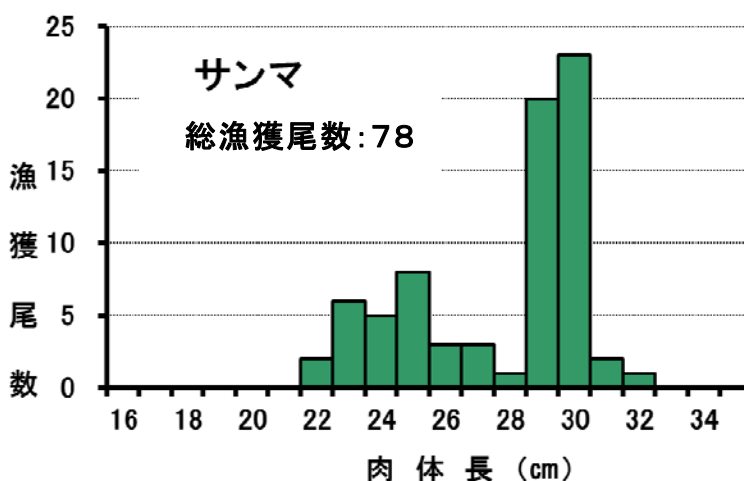


図8 サンマの漁獲物肉体長組成

◎ 7 月 27～28 日に、独立行政法人中央水産研究所（横浜市金沢区福浦）で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

（道総研 釧路水産試験場 調査研究部
 直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225）